

## 企業現場見学会 2019 実施企業を募集します

産学交流委員会 人材交流小委員会

### はじめに

産学交流委員会 人材交流小委員会では学生会員と法人会員とをつなぐ場として『企業現場見学会』を実施しています。本稿では2019年の実施企業を募集します。

### 『企業現場見学会』の対象と特徴

化学産業は日本を支える重要な産業です。実際、化学産業の付加価値額17兆円、研究費2.6兆円(2016年)は日本の産業界で輸送用機械器具に次いで2位の位置にあります。

このような化学産業の現場である工場や研究所を見学し、さらにそこで働く企業の方と交流する機会を持つことは、化学分野の研究者、技術者を志す学生にとって、進学や就職を考える上での重要な判断材料となることは間違いありません。一方、企業にとっても、自社の特徴や魅力、研究活動の様子を学生に直接、単なるイメージではなくリアルに五感で印象づけることができることは非常に有効な場であるに違いありません。そこで、学生と企業の双方をつなぐ場として『企業現場見学会』を実施しております。本企画の実施により、企業と学生との交流はもちろんのこと、参加した学生会員同士の交流の促進につながることを期待します。

### 参加学生の内訳やコメント

昨年度は、9月4日から19日にかけて、4社で実施され、約60名の学生会員が参加しました。参加した学生会員の80%以上が博士課程の学生(M1)であり、98%の学生から「大満足・満足」の評価をいただきました。また、「他では見ることができない、他の見学会と違う」と感じた点をアンケートで聞いたところ、次のような意見を頂戴しております。

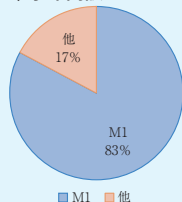
- ・他の説明会とは異なり、座談会にて少

人数で社員さんとお話しさせていただけたため、質問がしやすく企業への理解がより深まった。社員の方の詳しい解説を聞きながら、プロセスを見学できる点が特に素晴らしいと思いました。

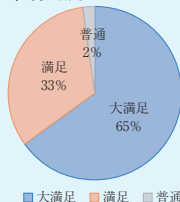
- ・会社で行っている研究内容をスライドで発表するだけの企業説明会も存在する一方で、実際に研究所に足を運ぶことによって、様々な製造装置や分析機器を見学させてもらったのが他とは違う点として挙げられるかと思います。また、1つ1つの機器に対して社員の方が懇切丁寧に説明して下さったのも非常にありがたかったです。
- ・製品を手にとってみることや製品の良さについて実演していただくことでその製品の強みが理解できたこと、またそのことから常に変化しうる次世代に向けて技術で引っ張っていく企業の姿勢が感じられたことは魅力的でした。
- ・研究所見学で、滅多に見ることができない研究の現場を体感できた点です。社員の方が仕事をする姿を生で見られるとても貴重な体験でした。

開催報告の詳細は下記のウェブサイトを参照下さい。URL: <http://www.chemistry.or.jp/activity/industry-university/past.html#gmb>

◇学年内訳



◇満足度



◇参加者の所属一覧(順不同)

[国公立] 東大/名工大/阪大/横国大/京大/お茶女大/名大/筑波大/富山大/岐大/東工大/信州大/千葉大/北大/埼玉大/神戸大/阪府大/[私立] 関西大/早大/理科大/立命館大/同志社大/慶大/中大/関西学院大/法大/東邦大/日大/神奈川工科大

### 募集要項

開催時期：9月1日(日)～30日(月)のう

ち1日をご指定下さい。

**募集対象企業**：本会法人会員であり、見学受入協力が可能な企業。

**実施内容**：学生会員を対象とした半日程度の工場や研究所の見学会の実施。

※見学会の内容および最小・最大催行人数は各社で自由に設定いただけます(見学に限らず研究所長による講演や若手社員との座談会・意見交換会、懇親会など)。

※参加する学生会員は現地集合、現地解散を原則とします。

※当日の運営や開催報告記事用の写真撮影などは各社でお願いします。

※本会職員は当日現場には赴きません。

**参加対象者**：本会学生会員に限る。

**申込方法**：本会ウェブサイトより。

**申込締切**：5月16日(木)

**事務手続き手数料**：108,000円(税込み)

**事務手続き手数料に含まれるもの**：

- 周知・広報
  - ・会員宛メール配信
  - ・開催情報掲載(ウェブサイト、会誌)
- 参加登録管理
  - ・参加者受付サイトの作成、管理
  - ・参加者名簿の作成
  - ・参加者への案内
- 報告
  - ・開催報告記事掲載(ウェブサイト、会誌)
  - ・アンケートの実施、取り纏め

### おわりに

会員各社様からの現場見学の提案をお待ちしております。見学の提案、企画内容の改善等、本企画へのご要望も受けたいまわります。

E-mail: [sangaku@chemistry.or.jp](mailto:sangaku@chemistry.or.jp)

【人材交流小委員会委員長  
高村岳樹(神奈川工科大学)】

©2019 The Chemical Society of Japan